

令和3年6月 定例教育委員会々議録

1 日 時 令和3年6月29日(火) 午後1時30分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室101・102

3 出席委員の氏名

教 育 長	山 田 公 一	教育長職務代理者	中 野 信 男
委 員	秦 久美子	委 員	齋 藤 純 郎
委 員	小 林 恵 子	委 員	上 田 佳 澄

4 説明のため出席した職員

教 育 次 長	太 田 和 行	主 幹	鈴 木 華 奈 子
学 校 教 育 課 長	岡 部 清 美	子 育 て 支 援 課 長	白 井 健 次
社 会 教 育 課 長	石 田 進 一	統 括 指 導 主 事	五 十 嵐 真 紀 子

5 本委員会書記

学校教育課 向 井 康 弘 他 2 名

6 傍聴人

1 人

7 会議に付議した事件

会議録の承認

諸報告

- (1) 教育長職務代理者の指名について
- (2) 行事報告及び行事予定
- (3) 教育長報告
- (4) 寄附報告

専決処分の報告について

報告第 5 号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題

協議第 4 号 新規共催・後援申請について

議 案

議案第 36 号 燕市子ども・子育て会議委員の委嘱について

議案第 37 号 燕市ファミリー・サポート・センター事業における利用料の減免等の特例に関する要綱の制定について

その他

(1) 令和3年第2回燕市議会定例会について（教育委員会関係抜粋）

1) 一般質問の概要について

(2) 教職員・保育士の新型コロナウイルスワクチン接種について

8 閉 会

会議録

別紙のとおり

1 開 会 宣 言 午後1時30分～

2 会議録の承認

○委員（齋藤 純郎）

前回の定例教育委員会で、「社会教育施設のコロナ対策について、窓がない場所の換気は扇風機を使うなど、既存のものを使って対応してほしい。」と要望させていただいたが、その後すぐに対応していただき、大変ありがたかった。利用者から感謝の声が届いている。

全員異議なく、令和3年5月定例教育委員会々議録は承認された。

3 諸報告

（1）教育長職務代理者の指名について

〈山田教育長が中野信男委員を教育長職務代理者に指名〉

（2）行事報告及び行事予定

〈各課長が報告〉

○委員（齋藤 純郎）

分水良寛史料館と長善館史料館の企画展を楽しみにしている。大河津分水通水100周年記念プレ事業とどう関係しているのかをアピールすると、多くの皆さんが関心を示してくれるのではないか。これからも2つの史料館で連携しながら企画展を実施していただけることを期待している。

また、図書館事業の「調べる学習さばーと教室」に関連して、「調べる学習コンクール」は、子どもたちの知りたいという意欲が溢れている作品が多く、いつも感心している。今回も期待している。指定管理者とともに、子どもたちの学ぼうという意欲をバックアップしてあげてほしい。

○社会教育課長（石田 進一）

長善館の門下生には大河津分水の建設に尽力された方が大勢いる。夏の企画展では、そこをしっかりと伝えたい。

「調べる学習コンクール」については、今年も夏休みに実施することになると思うが、毎年すばらしい研究成果が多く出ているので、今年も期待したい。

○委員（小林 恵子）

「羽ばたけつばくろ応援事業2次審査会」について、初めて参加したため、事前

にいくつか質問（事業の全容や予算のことなど）を用意していたが、その質問を子どもたちにするのは難しく、その場で質問を差し替えたことがあった。発表時に担当の先生にもいていただいて、質疑応答のサポートをしてもらってはどうか。

また、社会教育課の行事報告にあった「ミュージカル劇団ポプラ シンドバッドの冒険」を観劇したが、子どもたちが全員きちんとマスクをしており、係員の指示をよく聞いていて感心した。

○事務局

来年度以降の「羽ばたけつばくろ応援事業2次審査会」については、いただいた意見を参考に、今後検討させていただく。

(3) 教育長報告

〈山田教育長が以下のとおり報告〉

1 はじめに

○ 10 都道府県に出されていた緊急事態宣言については、沖縄県を除き6月20日をもって解除された。沖縄県は7月11日まで緊急事態宣言が継続される。解除された9都道府県のうち、東京都、大阪府、京都府、兵庫県、愛知県、福岡県、北海道の7都道府県については、まん延防止等重点措置に移行し、岡山県、広島県は完全解除となった。

また、これまで千葉県、埼玉県、神奈川県、岐阜県、三重県の5県に発令されていたまん延防止等重点措置については、岐阜県と三重県が6月20日をもって解除され、残りの3県は継続されることになり、緊急事態宣言からの移行も含め、10都道府県となった。期間はいずれも7月11日まで。

○ 5月の定例教育委員会以降の教育委員会が所管する園や学校における新型コロナウイルスの感染状況は、次のとおり。

・西燕保育園については、関係者1名の感染が判明した5月25日（火）から、西燕保育園子育て支援センターとあわせて臨時休園していたが、市が職員に対して実施した自主的なPCR検査、保健所が行った積極的疫学調査の結果を受けて、いずれも6月1日（火）から再開した。

・燕北中学校については、関係者1名の感染が判明した5月28日（金）から臨時休業していたが、保健所が行った積極的疫学調査の結果を受けて、6月2日（水）から再開した。

・小高保育園については、関係者1名の感染が判明した6月8日（火）から臨時休園とし、市が職員に対して実施した自主的なPCR検査、保健所が行った積極的疫学調査の結果を受けて、6月11日（金）から再開した。

いずれの場合も、園や学校内での感染症の拡大がみられなかったことに安堵している。

- 県は、燕市及び三条市の保育園や福祉施設などの職員と利用者で、PCR検査を希望する者に対して、検査キットの無償配布を行っており、市内の公立、私立の保育園、幼稚園、こども園からは、職員 542 名、園児 1,437 名の申し込みがあった。

検査の結果については、職員、園児とも、全員陰性であったとの連絡を受けている。

- 燕市では、市内保育園の保育士等及び小中学校教員は、子どもとの接触頻度が高い職種であり、クラスター発生リスクが高いことから、新型コロナウイルスのワクチン接種についての優先順位を上げて対応することとした。

市内保育園の保育士等については、65 歳以上の高齢者の集団接種の空き枠等を活用し、計画的に接種を実施する。

市内小中学校の教員については、本市と定住自立圏を形成している弥彦村と連携し、弥彦村内の集団接種会場において 1 回目の接種は 7 月上旬、2 回目の接種は 8 月上旬に実施する。この件の詳細については、後ほど、「7 その他」で学校教育課長が説明する。

2 令和 3 年度第 2 回燕市議会定例会（6 月議会）の報告

【議案について】

- 教育委員会に関係する議案は、追加議案を含め次の 4 件であった。

- ① 燕市教育委員会委員の任命について
- ② 令和 3 年度燕市一般会計補正予算（第 4 号）

【追加議案】

- ③ 契約の締結について（分水総合体育館改修工事（建築））
- ④ 令和 3 年度燕市一般会計補正予算（第 5 号）

このうち、①については、議会初日の 6 月 18 日に採決が行われ、山崎克弥氏の後任として上田佳澄氏を教育委員に任命することが議決された。

②から④までについては、議会最終日の 6 月 30 日（水）に採決が行われる。

【一般質問】

- 教育委員会に対する主な一般質問は、次のとおり。
 - ・燕市指定文化財である国上寺に対する対応について
 - ・学力の向上について
 - ・Jack & Betty プロジェクトについて
 - ・全天候型子ども遊戯施設整備について
 - ・大河津分水通水 100 周年事業について
 - ・新型コロナウイルス感染症への対応について
 - ・G I G A スクール構想について
 - ・倒壊の恐れのある学校設備の総点検について
 - ・交通安全教室とあいさつ運動の実施状況について

- ・通学路における安全対策について

【議員協議会】

- 議員協議会において協議した案件は、次のとおり。
 - ・吉田トレーニングセンター大規模改修にかかるレイアウト（案）及びトレーニング機器の選定（案）について

3 6月の行事から

(1) 長善館学習塾開講式（6月12日（土））

- 令和3年度の長善館学習塾の開講式を6月12日に燕市役所つばめホールで開催した。
- 令和3年度の長善館学習塾には、市内小学校の5年生6人、6年生7人の計13人が参加してくれた。
- 例年は、長善館いこいの家で開講式を実施していたが、本年度は新型コロナウイルス感染症対策で密を避けるため、広いつばめホールを会場に実施することとした。
- 塾生の13人は、それぞれ自分の言葉で決意表明を行ってくれた。
- 鈴木市長からは、塾生に対して、長善館学習塾という船に乗って冒険の旅に出て、「勇氣」、「友情」、「感謝」の三つの宝を見つけてほしいと激励の言葉が送られた。
- 長善館学習塾の様々な活動を通して、子どもたちが大きく成長してくれることを期待している。

(2) 羽ばたけつばくろ応援事業第2次審査会（6月13日（日））

- 令和3年度の羽ばたけつばくろ応援事業には、4団体から応募があり、事務局である学校教育課による書面審査を経て、6月13日に第2次審査が行われた。
- 申請団体と企画活動テーマは次のとおり。
 - ・燕東小学校躍進学年：燕の宝 スキル（技術）&ハート（心）
 - ・島上小学校6年生：たすけ愛 食でつなぐ未来
 - ・小池中学校生徒会：糸半プロジェクト～感染禍の中で今私たちにできること～
 - ・燕中等教育学校：「国上山の植物」の作成
- 当日は、審査会の直前に新型コロナウイルス感染者が確認された燕中等教育学校を除いた3団体がプレゼンテーションを行い、審査員の審査を受けた。
- 当日欠席となった燕中等教育学校については、審査の公平性を保つ意味から、プレゼンテーションの動画を送ってもらい、後日審査員から当該動画を見て、採点していただくこととした。
- 審査員をお務めいただいた小林教育委員に感謝申し上げる。

4 結びに

- 新型コロナウイルスのワクチン接種が、急ピッチに進んでいる。燕市でも、11月未までにすべての希望者に接種が完了するよう準備を進めている。

ワクチン接種が進むことで、新型コロナウイルスの感染状況がどのようになるのか、見極める必要があると思っているが、当面は、気を緩めることなく、各学校や園における感染症対策を引き続き徹底していきたいと考えている。

(4) 寄附報告

6件の寄附について

〈No. 1について岡部学校教育課長が説明〉

〈No. 2、3について白井子育て支援課長が説明〉

〈No. 4、5、6について岡部学校教育課長が説明〉

4 専決処分の報告について

報告第5号 共催・後援の教育長専決報告について

3件の共催・後援申請について

〈No. 1について岡部学校教育課長が説明〉

〈No. 2について白井子育て支援課長が説明〉

〈No. 3について石田社会教育課長が説明〉

5 協議題

協議第4号 新規共催・後援申請について

2件の後援申請について

〈No. 1、2について岡部学校教育課長が説明〉

○委員（小林 恵子）

No. 2の後援申請について、申請書の「他団体への共催等の申請の有無」の欄で、「共催」と「後援」の両方に丸がつけられているが、なにか意味があるのか。

○学校教育課長（岡部 清美）

燕市に対して「共催」を求める申請と、三条市教育委員会等に対して「後援」を求める申請をおこなっているためである。添付のチラシに共催申請している団体と、後援申請している団体が載っているので参考にしていきたい。

○委員（中野 信男）

No. 1の後援申請について、具体的にはどのような事業をするのか。

企画書において、事業についてもっと詳細な記載をすべきだと考える。

○学校教育課長（岡部 清美）

事業の詳細について補足説明をさせていただく。WROとは自律型ロボットによる国際的なロボットコンテストであり、プログラミングにより自動制御する技術を競う大会である。

審議の結果、全員異議なく No. 1、2 は承認された。

6 議案

議案第 36 号 燕市子ども・子育て会議委員の委嘱について
〈白井子育て支援課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 36 号は原案通り議決された。

議案第 37 号 燕市ファミリー・サポート・センター事業における利用料の減免等の特例に関する要綱の制定について
〈白井子育て支援課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 37 号は原案通り議決された。

7 その他

(1) 令和 3 年第 2 回燕市議会定例会について（教育委員会関係抜粋）

1) 一般質問の概要について

〈太田教育次長が説明〉

○委員（齋藤 純郎）

齋藤信行議員の一般質問「GIGA スクール構想について」について、タブレットの普及による子どもたちの視力の低下が心配であるが、どのように対策しているのか。

○統括指導主事（五十嵐 真紀子）

各学校では、タブレットの使い方に関するポスターを掲示している。7 月の校長会でも改めて周知する予定である。

2) 教職員・保育士の新型コロナウイルスワクチン接種について

〈岡部学校教育課長が説明〉

○委員（齋藤 純郎）

市内の園や学校で感染が発生した経緯があるので、教職員・保育士へのワクチン接種を7月上旬から始めていただけるのはありがたい。引き続き園や学校で感染対策を徹底していただきたい。

ワクチン接種後の副反応に対する休暇取得について配慮はされているのか。職員の配置や仕事の割り振りなど、接種をした職員が休んでも影響が出ないように、あらかじめ計画を立てておくべきだと思う。

○主幹（鈴木 華奈子）

現在、各学校に休暇を取れるよう通知を出している。2回目のワクチン接種が8月の夏休み中に設定されているが、副反応による休暇が取りやすいようにするための配慮の一環である。7月の校長会でも改めて指導したい。

○委員（齋藤 純郎）

保育園等についてはいかがか。

○子育て支援課長（白井 健次）

園については、接種スケジュールにゆとりを持たせるとともに、1日に接種する職員を各園1名（大規模園は2名）とすることで、副反応により職員が休暇を取っても影響がないようにしている。ワクチンのキャンセルが出た場合には園長や主査保育士、児童クラブだと主任指導員を優先的に接種している。

○委員（小林 恵子）

燕市に勤務している職員で、住所が燕市でない場合、接種券はどこから発送されるのか。

○教育次長（太田 和行）

燕市に住所がない職員でも、燕市健康づくり課から接種券が発行される。

○委員（秦 久美子）

2回目の接種は8月の夏休み中とのことだが、児童クラブなどは運営している。児童クラブで勤務する職員の2回目のワクチン接種に配慮していただきたい。また、夏休み中のみ児童クラブで勤務する方々（保育ボランティア等）はどうするのか。

○子育て支援課長（白井 健次）

児童クラブ職員のワクチン接種については、保育士同様ゆとりを持ったスケジュールを考えている。夏休み期間中のみ勤務する方々のワクチン接種については、今ここで具体的なスケジュールを提示することはできないが、可能な限り接種できるよう検討したい。

○委員（秦 久美子）

2回目接種後の休暇等を含め、配慮していただきたい。

8 閉 会 午後2時35分

燕市教育委員会会議規則（平成18年燕市教育委員会規則第2号）第17条第2項の規定により会議録に署名する。

令和 3 年 7 月 27 日

教 育 長 山 田 公 一

教 育 委 員 中 野 信 男

教 育 委 員 秦 久 美 子

教 育 委 員 斎 藤 純 郎

教 育 委 員 小 林 恵 子

教 育 委 員 上 田 佳 澄

会 議 録 作 成 職 員 志 賀 寛 子